

SDGsへの挑戦 – それぞれのきっかけからメリットまで！ –

事業者		株式会社アイル・クリーンテック	
所在地	埼玉県さいたま市	業種	廃棄物処理業
設立	2003年	環境経営継続期間	4年
従業員数	13名	SDGs取組開始年	2018年



- 食品廃棄物の堆肥化で、SDGsに貢献
- 受託量が増加し、新規取引先も獲得

2. SDGsを意識した取組の意義・効果・変化

■ 取組の意義

- 食品リサイクルループの取組によって、SDGsの目標達成に貢献できると考えている。

■ 取組の効果、変化

- 会社の評価が高まり、既存の取引先からの受託量が増加した。新規の取引先も獲得できた。
- 埼玉県の「環境SDGs取組宣言企業」への登録により、対外的なアピールが強化できている。
- 世界に取組を発信できるようになった。海外の政府や企業の視察、堆肥の輸出オファーがあった。



食品リサイクルループ

1. SDGsを意識した取組の現状と経緯

■ 取組の現状

- 省エネによるCO₂削減や、水・廃棄物の削減などに取組んでいる。寄居工場はエコアクション2.1 (EA21) を取得している。
- 受託した食品廃棄物を堆肥化し販売している。焼却やガス化よりもCO₂排出量を抑制できる。
- 高齢者の農家で肥料をまくサービスや、肥料の成分分析・堆肥のトレーサビリティ、学校への出前授業やフードバンクへの寄付活動も行っている。

■ 取組を始めた経緯

- SDGsの取組は、自社の食品廃棄物のリサイクルと連動できると考えた。

3. 取組の進め方

- SDGsに一から取組むのではなく、現在の業務がSDGsのどの目標の該当するかを分類することから始めた。
- 従業員には「わかやすさ」を優先し、17の目標のみを説明し、169のターゲットは説明していない。
- 他社の事例を入手し、参考にした。



SDGsと業務の分類